

目標達成計画

作成日: 平成 23年 11月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		理念を実現するためのサービスを考える	職員がこの理念を実現するための具体的な目標を設定し期間を経て自己評価する	昨年とは視点を変えて取り組む。職員個々に目標を設定し実施し、自己評価する	6ヶ月
2		自己決定へ導くための方策の検討と実行	職員全員が自己決定の重要性を理解し、対応技術を理解し実行する	職員主導の声掛け決定をしている場合がある。職員主導の決定を無くし、認知症と言えども自己決定できるような言葉掛と対応をする。	6ヶ月
3		利用者が無理なく参加できる、配膳スペースの検討、実施	食事作りのときに、利用者が無理なく配膳や片付けに参加できる	昨年実施できなかったもので、今年は必ず実行する。	3ヶ月
4		地域の子供たちとの係りを更に深くする	近所の子供たちが気軽にいつでも出入りする施設にしたい	子供たちが参加できる行事の企画、およびふだんから子供たちに声掛けをして、遊びに来てもらう	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

